井草中CS（コミュニティ・スクール）便り 第6号

2010年5月28日発行　CS広報部会

―改めてＣＳとはー

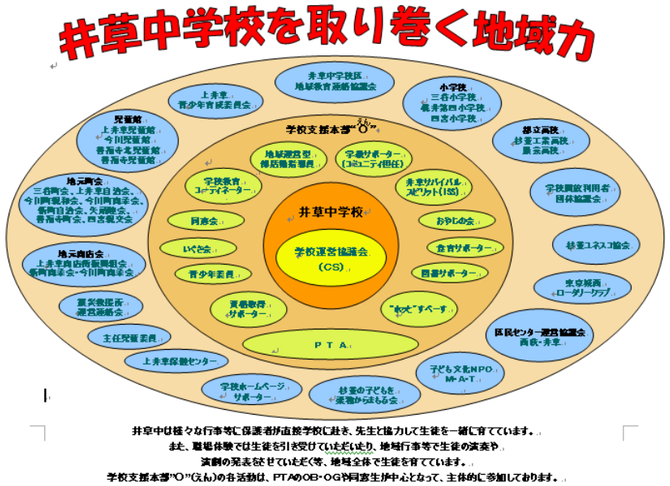
井草中 CS 会長　坂野　慎二

井草中学校が CS（コミュニティ・スクール）になってから４年目となりました。これまでも CS 便りを発行したり、アンケートを実施したりしてきましたが、改めて CS とは何かについて、ご紹介したいと思います。

CS は、保護者の皆さまや地域の方達の意見を学校運営に反映させることができるようにするために、国によって平成 16 年度に制度化されました。杉並区では、平成 17 年度から三谷小など幾つかの学校に CS を設置し始め、井草中は平成 19 年度から CS となりました。CS は保護者代表、地域の方達代表、校長先生が推薦する人、学識経験者等で構成されます。CS の役割としては、学校の運営方針を承認すること、関係予算を決定すること、人事に意見を述べること等、いろいろなことができます。

井草中の CS は、学校を支援する様々な団体の集まりである学校支援本部“○”と連携しながら、井草中の学校運営を支援しています。具体的な活動は次のようなものです。

① 独自の生徒アンケートを実施し、井草中にどのような良さや課題があるのかを把握しようとしています。
② 学級サポータ（通称：コミ担）として、井草中の良さや課題を見つけるお手伝いをしています。
③ CS 便りの発行等を通じて、活動を広く保護者の皆さまや地域の方達に知っていただき、井草中を元気にすること。



昨年度はこうした活動に加え、他地域の学校の CS 立ち上げを支援したり、CS の活動がよりうまくいくための支援も行いました。平成２１年６月には世田谷区立弦巻中学校で、平成２１年１２月には川崎市教育委員会で、井草中のＣＳについて説明する機会がありました。

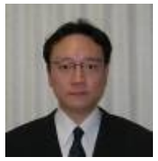
今年度は、学級サポータ（コミ担）を増員し全学年の対応をすることにしました（昨年度は１年のみが対象でした）。今年度の学級サポータのメンバーをご紹介します。
また今年度から学校支援本部の一員に、新たに、学級サポータ（コミ担）と食育サポータ、いぐさ会（校長、ＰＴＡ会長、副会長ＯＢ会）を加えました。ＣＳと協働してさらに学校支援体制を整えていきたいと思います。

仮校舎住まいにも慣れ、生徒も少しずつ中学生らしくなってきています。生徒達の成長をみんなで実感しながら、井草中をより良くする活動に参加し、楽しんでみてください。

学級サポーター（通称コミ担）紹介！

Ａ組

牛田伸一（うしだしんいち）
CS 委員



辻田浩和（つじたひろかず）
CS 委員
支援本部会長

石田悦実（いしだえつみ）
支援本部副会長、同窓会副会長

小美野公治（おみのこうじ）
いぐさ会幹事

佐藤靖広（さとうやすひろ）
土曜日学校 ISS 担当

小向祐子（こむかいゆうこ）
図書サポート担当

小美濃智江美（おみのちえみ）
いぐさ会

Ｂ組

小口和子（おぐちよりこ）
CS 委員
“ホッと”すペーす担当

石黒　康（いしぐろ　やすし）
CS 委員
土曜日学校 ISS 担当

小川文子（おがわあやこ）
青少年委員

鈴木　薫（すずき　かおる）
食育サポート担当

八木澤久雄（やぎさわひさお）
地域運営型部活動（野球）担当

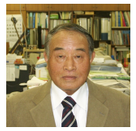
工藤一朗（くどういちろう）
同窓会幹事

Ｃ組

江畑洋子（えばたようこ）
CS 委員
ISS 副委員長
“ホッと”すペーす担当

坂野慎二（さかのしんじ）
CS 委員長

鈴木定雄（すずきさだお）
CS 委員



大平久光（おおひらひさみつ）
おやじの会会計

伊藤清江（いとうきよえ）
青少年委員

牛田　薫（うしだ　かおる）
地域運営型部活動（野球）担当

井口知穂（いぐちちほ）
いぐさ会

―学級サポータ（通称：コミ担）―

全学年の各クラスに“学級サポータ”（通称：コミ担）という方が地域交流授業や学校公開、運動会、合唱コンクールなどの学校行事の色々な機会にお邪魔しています。これはコミュニティ・スクール（CS）委員や学校支援本部“〇(えん)”の委員が、各クラスの応援団としてクラスの生徒さんや担任の先生をサポートしようという目的で、昨年度１年生で始めたものですが、今年からは全学年に対応することとしました。１年間よろしくお願いします。

Ｄ組

熊野隆喜
CS 委員長職務

野田敏夫
CS 委員

小美濃正治
同窓会会長

植松照美
地域教育コーディネータ

岩崎初音
資格取得サポート担当

Ｉ組

古谷充廣
CS 委員
土曜日学校 ISS 実行委員長

松谷草苗
地域教育コーディネータ

遠藤　忠
おやじの会会長

西川裕子
いぐさ会

樋口和美
いぐさ会

矢島智和

西谷由美
Ｉ組保護者

吉田雅子
Ｉ組保護者

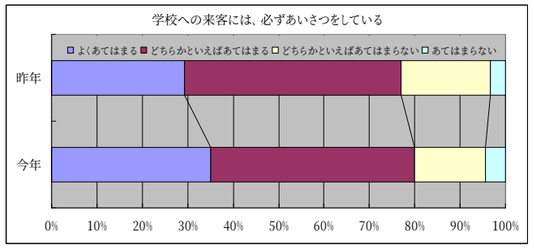
ＣＳ独自実施　生徒アンケート結果のご報告

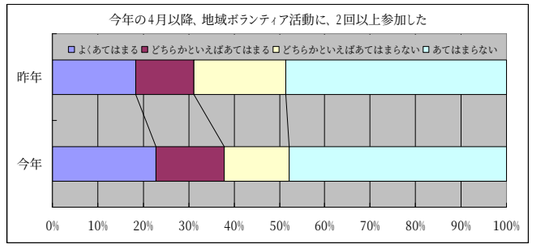
平成 21 年度、ＣＳが独自に実施した生徒アンケートにご協力をいただきありがとうございました。実施いたしました内容を、ＣＳ委員会の中で、今年度の学校経営の参考にしようと分析・検討してまいりました。今回その結果の一部をご報告いたします。

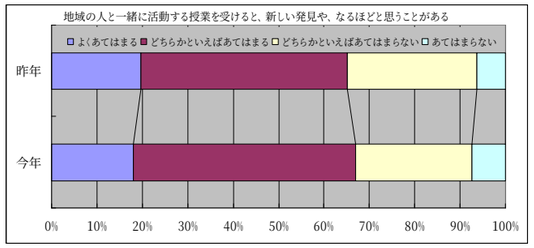
① 設問「学校の来客にはかならずあいさつをしている。」では、当てはまるとの回答が昨年より多くなり、８割になっています。生徒会の「あいさつ」運動の成果が実になっているようです。

② 設問「今年の４月以降、地域ボランティア活動に２回以上参加したでは、当てはまるとの回答が昨年より増加し、４割近くなってきました。

③ 設問「地域の人と一緒に活動する授業を受けると、新しい発見や、なるほどと思うことがある」では、昨年とあまり大きな変化は有りませんでしたが、当てはまるとした回答が少し増えたようです。







井草中は CS として地域に根ざした学校を目指しています。アンケート結果から、良い方向が見えてきたように感じています。今後も地道に意識の向上を図りたいと思います。

リレーエッセイ　―井草中探訪 第６回―　国分寺の空から

国分寺市立第二中学校副校長（前杉並区立井草中学校主幹教諭）　**本杉　貴保**

お久しぶりです。５月１日付で国分寺市立第二中学校へ転任した本杉です。４月に開催された第１回の学校運営協議会でリレーエッセイを担当することになっていました。井草中を離れてはや３週間が過ぎ、在任中の１年１ヶ月を振り返り、思いついたままに書かせていただきます。

ここ数年、地域に開かれた学校づくり（地域とともに生徒を育てる学校づくり）ということが大きな課題となっております。多くの学校が地域連携・運営型の学校づくりを目指して取り組んでおります。私自身も以前勤務していた教育委員会で本事業に携わる機会があり、寺田校長先生から学校運営協議会のこと等を伺い大変興味をもちました。１年間学校運営協議会にオブザーバーとして参加させていただいて感じたのは、学校運営協議会委員の皆様が学校の強みと弱みを認識され、学校（生徒・教員）を支援するために何ができるか（時には苦言も辞さず）という熱い思いを毎回感じることができました。そして、３年間の集大成と言える「感謝の集い」「卒業式」でみせた卒業生の姿に現れたのではないかと思っております。この場を借りて改めて感謝申し上げます。

１年１ヶ月と短い間でしたけれど、学校運営協議会の皆様はじめ地域の皆様には大変お世話になりました。生徒は、学校・保護者・地域とスクラムを組むことがとても大事なことであることを、この国分寺の地で実感している毎日です。